

JP091 鳥屋野潟 (とやのがた)

新潟県：新潟市

位置	N 37° 53′ E 139° 03′
----	----------------------

面積	264ha
----	-------

環境構成【湖沼／ヨシ原／水田／河畔林】

鳥屋野潟は新潟市の中心部にある湖水面積 167ha の潟湖である。新潟平野下流域の遊水地としての機能を担っており、都市に隣接しながらも埋め立てられることなく残された。湖の周囲を取り巻くようにヨシの群落が発達し、湖面にはコウホネやヒシが繁茂している。潟の両岸にある2つの公園では植樹されたサクラ、マツ、カシなどの木々が成長し、都市の中に森を形成している。湖内にはコイ科魚類をはじめ淡水魚が多く生息する。鳥屋



写真：岡田成弘

野潟の南東側には内湖の清五郎潟がある。潟の半分は埋め立てられて庭園となっているが、残された湖水面にはヨシが茂り、ヒシ等の水生植物が生育している。厳冬期には清五郎潟でねぐらをとるオオハクチョウ、コハクチョウが多く見られ、積雪期にはヒシクイも入り込むなど、鳥屋野潟で風雪が強い時の避難場所としての役割を担っている。

選定理由

A4i	コハクチョウ
-----	--------

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

保全への脅威

- ・鳥屋野潟の湖岸堤整備が新潟県（土木河川整備課、新潟地域振興局地域整備部）によって計画・実施される。これにより、コハクチョウ、オオハクチョウ、ガン類のねぐらとなるヨシ原の減少による影響が懸念される。ヨシ原の保全及び工事後の植栽による復元などを提言している（日本野鳥の会新潟県）。
- ・内湖である清五郎潟の開発、乾燥化によるコハクチョウねぐらの消滅危機。
- ・鳥屋野潟周辺の都市開発による南部水田地帯とのグリーンベルト分断化

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
変わらない
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
生物多様性センターホームページのモニタリングサイト 1000 の調査結果より
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化がある
詳細、具体例等： 鳥屋野潟周辺開発に伴う水田環境の減少、内湖である清五郎潟の周辺開発と乾燥化によるコハクチョウねぐら環境の悪化
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
普通（70～90%が最適の状態）

保全活動

- ・ 環境教育活動：
内容：ハクチョウ類・ガン類生息数調査(10月から3月の越冬期)日本野鳥の会新潟県
鳥屋野潟に生息する鳥類調査（周年）（日本野鳥の会新潟県）
鳥屋野潟探鳥会（日本野鳥の会新潟県）
新潟市民探鳥会（新潟市、にいがた野鳥の会、日本野鳥の会新潟県）
新潟県立自然科学館屋上からの鳥屋野潟探鳥会（新潟県立自然科学館・日本野鳥の会新潟県）
探鳥会・自然観察会（鳥屋野潟公園管理事務所）
- ・ モニタリング調査：
内容：環境省生物多様性センター：モニタリングサイト 1000
ハクチョウ類・ガン類生息数調査(越冬期)（日本野鳥の会新潟県）
野鳥生息調査（通年毎年）（日本野鳥の会新潟県）

IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

- ・ 日本野鳥の会新潟県
- ・ にいがた野鳥の会

見られる鳥

4,000羽のコハクチョウが飛来し、越冬する。潟湖周辺に残されたヨシ原の入り江でねぐらをとおり、朝になると鳥屋野潟南部に広がる水田に向かい落ち穂、二番穂などを採食し、夕方には鳥屋野潟に戻って来る。降雪量の多い時には、近隣の福島潟で越冬するオオヒシクイの

避難場所となり数百羽が飛来することがある。マガモ、コガモの越冬数も多く、ともに1万羽を超える。夏季はコアジサシが潟で採餌し、鳥屋野潟周辺で繁殖し、2002年以降、カンムリカイツブリの繁殖が県内で初めて確認され県内で唯一の繁殖地となっている。これまでに約200種の野鳥が観察されている。隣接する清五郎潟にもコハクチョウなどの多くの鳥類が観察され、夏季はカワセミやオオヨシキリなどの水辺の小鳥類の生息場所となっている。

留鳥	カンムリカイツブリ、カイツブリ、カルガモ、キジ、モズ、ヒヨドリ、オナガ
夏鳥	コアジサシ、バン、オオヨシキリ、コヨシキリ、カッコウ、カワセミ、コムクドリ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギ、ササゴイ、ヨシゴイ
冬鳥	コハクチョウ、オオヒシクイ、カンムリカイツブリ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、トモエガモ、ミコアイサ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、ウグイス、ミソサザイ、ツグミ、シメ、オオジュリン
旅鳥	オオルリ、キビタキ、コサメビタキ、サンコウチョウ、クロツグミ、センダイムシクイ、エゾムシクイ、メボソムシクイ

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会新潟県
- ・新潟県立自然科学館



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCO, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community